

いずみ会/旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報 いずみ 第50号 記念号

発行/いずみ会 編集/いずみ会広報部

〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-3-1 都立大泉高等学校内

事務所 東京都練馬区東大泉 6-34-30 SKビル305号

ホームページ <http://www.izumikai.net> Eメール izumikai@v7.com

主な記事

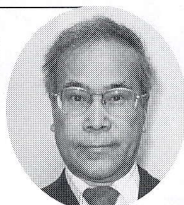
- 2・3 60周年記念式典
- 4~8 執行部関係
- 9 母校関係
- 10~12 同期会日より他
- 13 緑蔭
- 14・15 会費納入者一覧
- 16 お知らせ

総会・創立60周年記念式典・祝賀会

日：2005年11月26日(土) 於：母校体育館3Fアリーナ

1Fトレーニングルーム他

実行委員会事務局長 村上 広 (高15期)



当日の式次第

- 12:00 母校吹奏楽団・OB/OGによる
記念演奏会(体育館3Fアリーナ)
- 13:30 創立60周年記念式典および総会
(体育館3Fアリーナ)
 - 1・いずみ会石井岱三会長挨拶
 - 2・母校藤井文雄校長祝辞
 - 3・いずみ会有田二郎事務局長事業報告、会計報告
 - 4・一橋大学学長杉山武彦氏(高15期)お話
- 14:30 いずみ会創立60周年祝賀会(体育館1F、円形校舎食堂他)
 - 1・青山喜彦実行委員長挨拶
 - 2・鏡開き
 - 3・田中英道いずみ会前会長乾杯
 - 4・懇親・懇談
- 16:30 閉会



当日は、150名を越す実行委員会のメンバーが手分けして、大泉学園駅から校舎体育館の会場までの角で、参加者の誘導あるいは式典の準備・進行をおこないました。

*

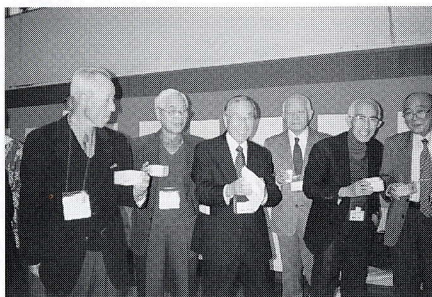
記念演奏会では生徒60名にOB/OGの40名が加わり、合同演奏が行われました。生徒の演奏では、寸劇や踊りなどもあり聴いても見ても楽しめました。OB/OGは練習時間もそう多くは取れないのにもかかわらず、さすがに先輩と思わせる演奏の披露がありました。

*

式典は吹奏楽部OBのファンファーレで厳かに始まり、石井会長は初代の室岡校長の言葉「剃刀より鉋になれ」を引き合いに、挨拶をされました。

藤井校長は進学内容の向上、ソフトテニスや野球部の活躍など文武両道の校風が実を結んでいることや、中高一貫校への取組み状況など、あるいはいずみ会の人材バンクへの期待などのお話をされました。

杉山武彦一橋大学学長は大学経営の変化や、芝山鹿屋体育大学学長との出会いでのエピソードにより、先輩後輩のありがたさを身をもって体験されたことを例に挙げてお話されました。



式典には、来賓として校長・副校長及びPTA役員、招待者として42名の恩師、また喜寿を迎えられた中学1期の方々をお祝いする意味で旧制中学校卒業の皆様などをお招きしました。

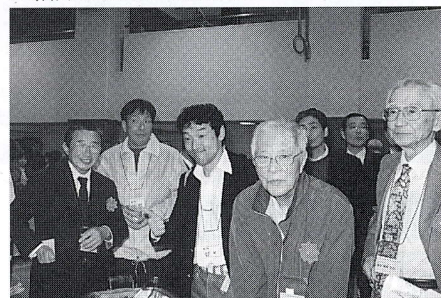
*

式典終了後1Fの祝賀会場に下り、青山実行委員長挨拶の後、田中英道前会長のご発声で乾杯し、祝賀会がスタートしました。

会場はこのトレーニングルームのみならず、円形校舎1Fの食堂、体育館2Fのエントランス状のスペースにもしつらえましたが、どこも満員の盛況で、あちこちに談笑の輪ができていました。

また、校舎4号棟3Fにある「いずみの広場」では、各期の卒業アルバムや当時の懐かしい写真を拡大したパネル、あるいは会

員の著作・寄贈の「いずみ会文庫」なども展示され、歴史の重さ、人材の豊富さなどが紹介されていました。



*



祝賀会の終了後は、当日に行われていた3年生の模擬試験の邪魔にならないように西側の門からの退出となりました。その後、駅前近傍の多くの飲食店などでは、二次会が多数開催され「歩けば同窓生にあたる」状態が続いた夜となりました。

*

今回は600名を越える方々がご参加くださいましたが、これは、準備段階から多くの実行委員、拡大委員のご尽力されている姿を仲間の方々をご覧になり、参集された結果かと思えます。このことは、期ごとの参加者の分布にも現れています。

高校36期以降の若い方々は、実生活で多忙な時期ですから、参加者が多くは望めないことは予想できましたが、呼びかけの工夫などに至らない面もあったことは、素直に反省いたしております。今後の課題としては、若い期はもちろんのこと、より多くの方々への呼びかけなど、魅力のあるイベントの開催に工夫を凝らす必要があると痛感いたしました次第です。

魅力ある同窓会とは何かも含めて考えて、今後の活動の指針としたいと思います。

本年度

いずみ会総会・懇親会

10月28日(土) 午後1時より 受付開始(同封のご案内をご覧ください。)

いずみ会総会・創立60周年記念式典・祝賀会

2005（平成17）年11月26日、晩秋の青空の下、486名の卒業生と42名の恩師が一堂に母校に会し、いずみ会の発足60周年を祝う式典が盛大に行われました。

記念演奏会



吹奏楽部現役生徒によるステージ（指揮：第2学年 山村 舞氏）



吹奏楽部OBによる演奏（指揮：高35期 西内真幾氏）



「マツケンサンバ」まで飛び出して…

総会・記念式典



石井岱三会長あいさつ



藤井文雄校長あいさつ



会報を手に会計報告
（有田二郎事務局長）



一橋大学学長 杉山武彦氏による講演（高15期）



祝賀会場では最後の打ち合わせ

チョットひと休み（第2会場）

なつかしのアルバムを手に

「いずみの広場」での展示

祝 賀 会



青山喜彦実行委員長(高5期)の開会挨拶



鏡 割 り



立錫の余地もない会場内



沼田英一先生 永嶋正俊先生



乾 杯 /
田中英道前会長



広瀬和清、芳子両先生



元気ですよ～(吉田登代子先生)



笑顔、また笑顔



懐かしい先生方



女生徒たちに囲まれて(清水昭守先生)



藤井文雄校長先生



村上 広 実行
委員会事務局長
(高15期)



校歌・校友の歌斉唱
指揮：正垣教義氏(高15期)



互いに肩と肩を組み合っの대合唱



「5の会」から「6の会」へ
ベナントが引き継がれました

評議員会報告

総務・企画部部长
大高 光蔵 (高13期)

平成18年6月3日(土)13時から母校一号棟大会議室にて、平成18年度定時評議員会が開催されました。評議員89名(他に委任状提出243名)、一般会員5名が出席しました。議事に先立ち、石井会長挨拶、本年4月1日付けで都立足立工業高校から、本校に転任になった小林校長挨拶がありました。議長に會田幸子評議員(高25期)を選出し、議事に移りました。

【審議事項】

- 第1号議案 平成17年度事業報告及び収支決算承認の件(有田事務局長及び比嘉会計部長)が、賛成多数で承認された。
- 第2号議案 平成18年度事業計画案及び予算案承認の件(有田事務局長及び比嘉会計部長)が、賛成多数で承認された。

第3号議案 いずみ会規約一部改正の件(高津規約改正委員長)が、多数の賛成で承認された。

第4号議案 いずみ会役員選任の件(高津副会長)
会長 1名、副会長 3名、理事 12名、監査役 3名の候補者が紹介され、承認された。

【報告事項】

- 60周年記念祝賀会について(青山委員長、村上事務局長)報告された。
- 総務・企画部(大高部長)
 - 同期会等へは従来どおり支援する。
 - いずみ会室を洋式にし、机、椅子で利用するようにした。
 - 母校内の「いずみの広場」で、文化祭等に生徒との交流を深めたい。

4)人材バンクには、現在170名強の登録がある。母校の要請で講師として派遣するだけでなく、いずみ会室を利用して小グループの活動も行い、会の活性化に繋げてゆきたい。

3. 広報部(杉山部長)

- 今年の会報は第50号となるので、記念号として、従来の12ページを16ページにし一部カラー化する。
- 古い会報(1号から)をお持ちの方がいたら、広報部にご寄付願いたい。
- ホームページの模様替えをし、多くの若い方にアクセスして貰えるよう、努力する。

4. 会員情報部(大沢部長)

60周年記念名簿発行に際し、個人情報保護の観点からのご協力、及び、多数購入頂いたことにつき、謝辞が述べられた。

(写真は5ページに掲載)

以上で議事が終了し、引き続き懇親会に移りました。

平成17年度 いずみ会事業報告

いずみ会は、規約及び平成17年度事業計画に沿って、スローガン「いずみ会60周年を祝い全会員で記念事業を楽しもう」を掲げ、次の事業を行った。

第1 いずみ会60周年記念式典と総会の開催

平成17年11月26日(土) 母校の体育館及び周辺教室等にて開催した。午前中は吹奏楽部現役とOB合同の演奏会があり、午後からは、総会と「60周年記念事業実行委員会」並びに「5の会」が中心で企画された記念式典と祝賀会が、およそ600人の出席者を迎えて、盛大に挙行された。

第2 会報の発行・広報活動の充実

- 会報いずみ第49号を平成17年10月1日に発行した。
- ホームページの充実
 - 改裝作業を進めている。
 - 速やかな更新を目指して努力した。

第3 名簿の発行と会員情報の整備

- いずみ会名簿「いずみ会創立60周年版」を平成18年2月にカラー頁込みで発行した名簿には、特集として記念式典・祝賀会のカラー写真、先生方の近況、鬼籍の恩師の思い出、60周年記念事業関係者一覧等を掲載した。
- 情報の精度向上に向け、9月と12月の2回、各期の会員情報部幹事を集め、データのチェック等を実施した。
- 名簿発行に際して、全会員に住所と電話番号の掲載についての意思確認を行った。
- 名簿の販売については、式典等機会を見てPRした結果、予定部数を上回る申し込みをいただいた。

第4 将来に向けての運営体制の拡充

- いずみ会室の整備
- 事務処理システムの整備

第5 母校との連携

- 平成17年9月18・19日母校文化祭に

参加し、「いずみの広場」において「いずみ会文庫」を紹介し在校生並びに保護者等との交流を図った。

- 平成18年3月13日の卒業式予行日に、いずみ会入会式を開催した。

- 昨年に引き続き校長先生をはじめ母校教職員、PTA関係者の協力のもと新卒業生の入会金の納入の促進に努めた。

第6 規約改正に向けての検討

- 規約改正委員会は検討結果として評議員会に次の提案を行う。

- 役員の辞任手続き
- 理事・監査役の補充選任手続き

第7 会財政管理

- 会の新会計制度の定着化を図り、適切な執行を行った。
- 「60周年記念事業」と「60周年記念名簿」の2本の特別会計を組み、事業運営の成功を期した。
- 万が一に備え、会計部長名義以外に預金口座を一つ追加した。

第8 幹事総会の開催

定時幹事総会を、平成17年5月28日(土)に開催し、幹事110名が出席、「平成16年度事業報告と収支決算」並びに「平成17年度事業計画と予算」が承認された。続いて、いずみ会幹事が評議員に、幹事総会が評議員会に呼称変更する、規約改正案が提案され承認された。

第9 その他の事業

いずみ会の活動を推進する為、次の事業を行った。

1. 理事会の開催(10回開催)
2. 監査会の開催(2月8日、5月1日の2回開催)
3. 各期評議員の登録更新
4. 役員改選に向けての準備作業

平成18年度 いずみ会事業計画

いずみ会は、規約に沿って、平成18年度に次の事業を実施する。

第1 総会の開催

平成18年10月28日(土)に開催する。

前半は、いずみ会の活動や母校関連事項の報告、後半は「6の会」の企画・運営による懇親会を行う。

第2 会報の発行・広報活動の充実

- 会報いずみ第50号を平成18年9月15日に発行予定とする。主たる記事は次のとおり。

- いずみ会60周年記念事業の反省とまとめ
- 平成17年度事業・収支決算報告と平成18年度事業計画・予算
- 平成17年度いずみ会行事報告
- 会員情報(同期会情報等)
- 新役員の顔ぶれ
- 母校関連情報

2. ホームページの刷新

第3 会員情報の更なる整備

1. 会員情報の精度向上に向け、各期会員情報部幹事との会合を2回実施する。

2. 「高校59期」名簿を作成し、「60周年記念名簿」とともに新入会員に配布する。

第4 将来に向けての運営体制の拡充

1. いずみ会事務室の整備と拡充(常設化の推進)
2. 事務の効率化と事務局体制の確立
3. 会員相互の交流の活発化
4. 会運営のIT化推進

第5 母校との連携

1. 平成19年3月12日(月)予定の卒業式予行日に、いずみ会入会式を開催する。

2. 平成18年9月17日(日)～18日(月)

予定の母校文化祭に参加し、「いずみ会の広場」において「いずみ会文庫」を紹介すると共に在校生並びに保護者との交流を図る。

3. 母校教職員、PTA等の関係者との交流会を開催し、母校との緊密化を図る。

4. 新入会員の加入に際し協力を依頼する。

5. 母校の中高一貫校問題に積極的に関わりを持つ。

第6 人材バンクの設立

1. 母校或いは会員からの要請により、登録された人材を派遣し、講演、講話等を行う。
2. 会の活性化のため、趣味のクラブ等を設立し、会員相互の親睦を図る。

第7 財政管理

1. 会計制度の定着化と適切な執行
2. 中長期収支計画の策定
3. 会費納入率の向上推進

第8 評議員会の開催

いずみ会の最高議決機関である評議員会を平成18年6月3日(土)母校にて開催する。

第9 その他の事業

1. 理事会の開催
2. 監査会の開催
3. 各期評議員の登録更新作業
4. いずみ会活性化を推進

ごあいさつ

いずみ会会長 石井 岱三 (高6期)

平成17年11月26日、いずみ会創立60周年記念式典を開催し、盛会裡に終了することができました。現役とOB合同の吹奏楽部による音楽会が始まり、午後からは総会をはさみ、一橋大学の学長である杉山武彦氏(高15期)による記念講演が行われました。杉山学長のお話の中にもありましたが、いずみ会の歴史と人脈の厚さや深さ、人材の多さ、各期との連携の深さは、いずみ会の誇りであり、宝の山であると思えて認識しました。喜寿(77歳)を迎えられる先輩達から、昨年の春に卒業した高校57期に至るまで、多くの方に参加していただけたことに感謝しております。

式典終了後、別室にて交流会がありましたが、600人を超す人達の出席で、盛り上がりは自然の現象であると思えました。出席者の顔には笑顔があり、交わす言葉には、「よかった」「よい会ですよ」など口々に言われたときは、涙の出るほどありがたい言葉だと心に響きました。

この60周年記念式典を企画・実行するに

は実行委員会として別の組織をつくり、青山副会長を実行委員長として多くの人達に委員をお願いしました。この委員の人達の企画と創造と努力は、大泉の学風であり、美しい花でもありました。イベントは、川の水が上流から下流に静かに流れるように、自然と会の進行が実施され、同時に時も流れて終宴することができました。

また、60周年記念事業のひとつに『いずみ会名簿』の発行があり、平成18年2月、無事発行することができました。この名簿前半の「アルバム」には、記念式典の様子が特集となって掲載されています。未見の方は、是非ご覧になって下さい。同時にご自分の期のページもお確かめいただきたいと思っております。

平成18年度の新しいいずみ会スタッフが決まり、新たな前進を期待しています。本年はいずみ会の方向を決める年と思っておりますので、皆様からもご意見、ご要望をお寄せ下さい。ご協力をお願い申し上げます。

評議員会出席者一覧

【中1期】猪股麒一郎、大和田啓三朗、春日孟、永川俊彦、本村禮二 【高1期】池田茂 【高2期】稲村啓、高橋宏、武見健三

【高3期】諏訪好一郎、仙田陽一、山岡竹三郎 【高4期】新井秀幸、加羽沢暉幸、橋本宏、比嘉高 【高5期】青山喜彦、大澤登、嶋正彦、滝沢宏夫、松岡五郎 【高6期】有田二郎、石井岱三、杉山肇、高松範、西多英治、村井和郎、村上昇、神田計子、梅澤やよひ、舩巴淳子、岡田昭子、高取都 【高7期】岡野朝子

【高8期】新井正晴 【高9期】須藤一彦、清水信、大軒史子

【高10期】井上康子、羽根田千賀子、保延義夫、長島慶子、野口悦子、田島寛、藤田肇、小川皓司、羽根田達治、廣川和男、鈴木京子、前川禎男 【高11期】加藤多鶴子、加藤勇、真田宗興、富田順子 【高12期】相川光夫、板橋昭寿 【高13期】早川淳、高田勲、平野忠雄、山本章義、中本攻、豊田孝美、小松富貴子、国澤栄子、大高光蔵、松尾洋、渡辺昌克、高津幸一、戸田一誠

【高14期】増岡建吾、布施百合子、國谷俊之、三原寿太郎、篠原庸雄 【高15期】中川徹夫、村上広、久保田繁 【高16期】神山宣彦、橋元宏、大場修一 【高18期】杉山明美、安斉秀行

【高20期】菊池素子、土肥暎美、金子研一、宮本正信

【高21期】植村久、鈴木文明 【高24期】真柳仁、山川新

【高25期】會田幸子 【高27期】飯田良弘、宇野伸一、竹林悦子

【高31期】原秀年、高瀬浩和 【高32期】仲沢浩一

【高48期】門脇卓也 【高53期】西敬徳



新役員の皆さん



評議員会 (本文は3ページ)

桜井宏君(第5代会長)を悼む

武見 健三(高2期)

桜井君とは小学校から旧制大泉中四年まで十年間同じ学校に通いました。彼は学究的、私は体育会系なので学園生活の思い出は少ないのですが、終戦間もない時期の英語の時間、彼は先生の間違いを指摘したり、質問で先生を困らせたりするほど英語が堪能でした。

後で聞くと、その頃独学で英語を一番勉強したと言っていました。このことが社会に出てからも海外勤務や国連での活動の基礎になったのではないかと思います。

彼は数年前から技術リテラシー特に学校教育でこの分野が欠けていると気づき日本工学会アカデミーの「技術リテラシー・タスク・フォース」の主宰として「学校では技術について何が教えられるべきか」という報告書を纏め上げました。この報告書はこれからの学校における技術教育の指針となるものでこの分野に大きな足跡を残しました。

いずみ会に於いても会長、理事、監査役などを歴任し会の活動に協力していましたが、私達高2期にとつては四年前彼が音頭を取って同期会を復活させてくれたことに感謝しなければなりません。お陰で七十才を過ぎてから卒業時の約半数を集めて再発足し以後毎年続いています。一月二十六日には彼の病を気遣って十六名が集り励ましましたがこれが同期の仲間との最後になりました。四月十五日の同期会では遺影を飾り彼を偲びました。本当に得がたい友達を亡くし残念でなりません。心から冥福を祈ります。

平成17年度 収支決算

(自平成17年4月1日～至平成18年3月31日)

単位：円				
科 目	平成17年度予算(A)	平成17年度実績(B)	差引 (B-A)	B/A(%) 備考
収入の部				
入会金	1,215,000	1,140,000	△ 75,000	93.8
前受金戻入	1,115,000	1,115,000	0	100.0
当期入金分	100,000	25,000	△ 75,000	25.0
会費	3,100,000	2,916,000	△ 184,000	94.1
前受金戻入	2,460,000	2,460,000	0	100.0
当期入金分	640,000	456,000	△ 184,000	71.3
寄付金	1,400,000	1,338,545	△ 61,455	95.6
総会参加費	1,750,000	2,120,000	370,000	121.1
名簿関係収入	5,742,316	7,094,316	1,352,000	123.5
名簿売上	720,000	1,413,000	693,000	196.3
予約金戻入	474,000	474,000	0	100.0
積立金戻入	3,548,316	3,548,316	0	100.0
広告料	1,000,000	1,659,000	659,000	165.9
前受金	3,800,000	3,458,000	△ 342,000	91.0
入会金	1,000,000	1,090,000	90,000	109.0
会費	2,800,000	2,368,000	△ 432,000	84.6
雑収入	10,000	6,340	△ 3,660	63.4
特別会計戻入	0	2,606,871	2,606,871	—
60周年事業	0	540,863	540,863	—
60周年名簿	0	2,066,008	2,066,008	—
小 計	17,017,316	20,680,072	3,662,756	121.5
前期繰越金	3,227,223	3,227,223	0	100.0
合 計	20,244,539	23,907,295	3,662,756	118.1

単位：円				
科 目	平成17年度予算(A)	平成17年度実績(B)	差引 (A-B)	B/A(%) 備考
支出の部				
総会関連費	0	0	0	—
開催費	0	0	0	—
準備費	0	0	0	—
役員・評議員会合費	450,000	296,414	153,586	65.9
評議員会開催費	250,000	194,826	55,174	77.9
理事会・委員会費	100,000	49,489	50,511	49.5
総務・企画活動費	100,000	52,099	47,901	52.1
監査役会費	20,000	1,611	18,389	8.1
広報費	3,600,000	2,966,598	633,402	82.4
会報印刷関連費	800,000	604,060	195,940	75.5
会報発送関連費	2,300,000	1,946,487	353,513	84.6
封筒作成費	230,000	216,300	13,700	94.0
振込用紙印刷費	150,000	135,450	14,550	90.3
ホームページ関連費	70,000	51,880	18,120	74.1
広報部活動費	50,000	12,421	37,579	24.8
会費関連費	160,000	139,606	20,394	87.3
口座振替手数料	100,000	103,270	△ 3,270	103.3
会計部活動費	60,000	36,336	23,664	60.6
名簿関連費	290,000	213,370	76,630	73.6
新入会員名簿作成費	70,000	0	70,000	0.0
会費情報部活動費	220,000	213,370	6,630	97.0
母校連絡費	100,000	14,641	85,359	14.6
会員活性費	20,000	0	20,000	0.0
消耗品費	50,000	0	50,000	0.0
什器備品等	200,000	157,750	42,250	78.9
ハード(パソコン)	150,000	157,750	△ 7,750	105.2
ソフト(パソコン)	50,000	0	50,000	0.0
いずみ会室関連費	1,000,000	834,011	165,989	83.4
業務委託費	300,000	0	300,000	0.0
雑費	50,000	8,970	41,030	17.9
予備費	100,000	0	100,000	0.0
60周年記念事業へ	3,250,000	3,620,000	△ 370,000	111.4
60周年記念名簿へ	5,942,316	7,294,316	△ 1,352,000	122.8
小 計	15,532,316	15,547,287	△ 14,971	100.1
積立金繰入	3,800,000	5,324,008	△ 1,524,008	140.1
前受入会金	1,000,000	1,090,000	△ 90,000	109.0
前受会費	2,800,000	2,368,000	432,000	84.6
名簿積立	0	1,866,008	△ 1,866,008	—
合 計	19,332,316	20,871,295	△ 1,538,979	108.0

単位：円			
項 目	予 算	実 績	
収入合計	20,244,539	23,907,295	
支出合計	19,332,316	20,871,295	
収支残	912,223	3,036,000	
別途積立金繰入		0	
次期繰越金		3,036,000	

貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

資 産				負 債			
科 目	2005.3.31現	2006.3.31	増 減	科 目	2005.3.31	2006.3.31	増 減
定期預金	27,626,392	27,628,725	2,333	入会金前受金	1,115,000	1,090,000	△25,000
普通預金	3,282,515	5,941,341	2,658,826	会費前受金	13,390,000	13,298,000	△92,000
振替口座	5,647,630	587,330	△5,060,300	名簿予約金	474,000	0	△474,000
現 金	198,002	132,612	△65,390	負債合計	14,979,000	14,388,000	△591,000
				正味財産			
				名簿積立金	3,548,316	1,866,008	△1,682,308
				別途積立金	15,000,000	15,000,000	0
				次期繰越金	3,227,223	3,036,000	△191,223
				正味財産計	21,775,539	19,902,008	△1,873,531
合 計	36,754,539	34,290,008	△2,464,531	合 計	36,754,539	34,290,008	△2,464,531

いずみ会60周年記念事業特別会計収支

(自平成17年4月1日～至平成18年3月31日)

単位：円			
科 目	予 算(A)	実 績(B)	差 引
一般会計より	3,250,000	3,620,000	370,000
総会参加費	1,750,000	2,120,000	370,000
60周年(母校)協賛費残高相当額	930,000	930,000	0
前年度総会費残高相当額	170,000	170,000	0
一般会計より	400,000	400,000	0
支出の部			
科 目	予 算(A)	実 績(B)	差 引
支出合計	3,250,000	3,079,137	170,863
会場費	250,000	233,880	16,120
準備費	300,000	326,641	△ 26,641
記録・広告費	135,000	23,843	111,157
懇親会食料費	1,400,000	1,570,713	△ 170,713
懇親会雑費	500,000	517,798	△ 17,798
記念事業諸経費	300,000	178,550	121,450
予備費	365,000	227,712	137,288
一般会計に戻入れ	0	540,863	540,863
収 支 残	0	0	0

いずみ会60周年記念名簿特別会計収支

(自平成17年4月1日～至平成18年3月31日)

単位：円			
科 目	予 算(A)	実 績(B)	差 引
一般会計より	5,942,316	7,294,316	1,352,000
名簿積立金戻入	3,548,316	3,548,316	0
名簿前受金戻入等	1,194,000	1,887,000	693,000
広告費売上	1,000,000	1,659,000	659,000
一般会計より	200,000	200,000	0
支出の部			
科 目	予 算(A)	実 績(B)	差 引
支出合計	5,942,316	5,228,308	714,008
会議費	50,000	28,757	21,243
販売促進費	100,000	135,380	△ 35,380
広告募集費	50,000	46,858	3,142
データ調査費	280,000	263,453	16,547
データ加工費	50,000	49,980	20
広告制作費	400,000	251,870	148,130
記事作成費	50,000	28,697	21,303
印刷費	3,800,000	3,964,475	△ 164,475
運搬費	50,000	46,200	3,800
発送費	367,500	332,750	34,750
雑費	100,000	76,168	23,832
広告料請求関係費	10,000	3,720	6,280
予備費	634,816	0	634,816
一般会計に戻入れ	0	2,066,008	2,066,008
収 支 残	0	0	0

平成18年度 収支予算

(自平成18年4月1日～至平成19年3月31日)

(収入の部)		単位:円			
科 目	平成18年度予算	平成17年度予算(A)	平成17年度実績(B)	増減(予算-A)	
入会金	1,115,000	1,215,000	1,140,000	△ 100,000	
前受金戻入	1,090,000	1,115,000	1,115,000	△ 25,000	
当期入金分	25,000	100,000	25,000	△ 75,000	
会費	2,909,000	3,100,000	2,916,000	△ 191,000	
前受金戻入	2,409,000	2,460,000	2,460,000	△ 51,000	
当期入金分	500,000	640,000	456,000	△ 140,000	
寄付金	1,000,000	1,400,000	1,338,545	△ 400,000	
総会参加費	375,000	1,750,000	2,120,000	△ 1,375,000	
名簿関係収入	150,000	5,742,316	7,094,316	△ 5,592,316	
名簿売上	150,000	720,000	1,413,000	△ 570,000	
予約金戻入	0	474,000	474,000	△ 474,000	
積立金戻入	0	3,548,316	3,548,316	△ 3,548,316	
広告料	0	1,000,000	1,659,000	△ 1,000,000	
前受金	3,200,000	3,800,000	3,458,000	△ 600,000	
入会金	1,000,000	1,000,000	1,090,000	0	
会費	2,200,000	2,800,000	2,368,000	△ 600,000	
雑収入	120,000	10,000	6,340	110,000	
小 計	8,869,000	17,017,316	18,073,201	△ 8,148,316	
前期繰越金	3,036,000	3,227,223	3,227,223	△ 191,223	
合 計	11,905,000	20,244,539	21,300,424	△ 8,339,539	

(支出の部)		単位:円			
科 目	平成18年度予算	平成17年度予算(A)	平成17年度実績(B)	増減(予算-A)	
総会関連費	505,000	0	0	505,000	
開催費	375,000	0	0	375,000	
準備費	130,000	0	0	130,000	
役員・評議員会合費	620,000	450,000	296,414	170,000	
評議員会開催費	250,000	250,000	194,826	0	
理事会・委員会費	220,000	100,000	49,489	120,000	
総務・企画活動費	150,000	100,000	52,099	50,000	
監査役会費	10,000	20,000	1,611	△ 10,000	
広報費	3,540,000	3,600,000	2,966,598	△ 60,000	
会報印刷関連費	850,000	800,000	604,060	50,000	
会報発送関連費	2,200,000	2,300,000	1,946,487	△ 100,000	
封筒作成費	230,000	230,000	216,300	0	
振込用紙印刷費	150,000	150,000	135,450	0	
ホームページ関連費	70,000	70,000	51,880	0	
広報部活動費	40,000	50,000	12,421	△ 10,000	
会費関連費	170,000	160,000	139,606	10,000	
口座振替手数料	120,000	100,000	103,270	20,000	
会計部活動費	50,000	60,000	36,336	△ 10,000	
名簿関連費	290,000	290,000	213,370	0	
新入会員名簿作成費	70,000	70,000	0	0	
会員情報部活動費	220,000	220,000	213,370	0	
母校連絡費	100,000	100,000	14,641	0	
会員活性費	20,000	20,000	0	0	
消耗品費	50,000	50,000	0	0	
什器備品等	0	200,000	157,750	△ 200,000	
ハード (パソコン)	0	150,000	157,750	△ 150,000	
ソフト (パソコン)	0	50,000	0	△ 50,000	
いずみ会室関連費	1,390,000	1,000,000	834,011	390,000	
業務委託費	0	300,000	0	△ 300,000	
雑費	50,000	50,000	8,970	0	
予備費	150,000	100,000	0	50,000	
60周年記念事業へ	0	3,250,000	3,620,000	△ 3,250,000	
60周年記念名簿へ	0	5,942,316	7,294,316	△ 5,942,316	
小 計	6,895,000	15,532,316	15,547,287	△ 8,637,316	
積立金繰入	3,400,000	3,800,000	5,324,008	△ 400,000	
前受入会金	1,000,000	1,000,000	1,090,000	0	
前受会費	2,200,000	2,800,000	2,368,000	△ 600,000	
名簿積立	200,000	0	1,866,008	200,000	
合 計	10,295,000	19,332,316	20,871,295	△ 9,037,316	

(収支の部)		単位:円	
項 目	予 算		
収入合計	11,905,000		
支出合計	10,295,000		
収支残	1,610,000		

会費納入促進のお願い

いつも、いずみ会の活動にご協力頂き有難うございます。昨年は60周年記念式典を開催し記念名簿を発行することができました。これも会員の皆様のご支援の賜物と感謝いたしております。

今回、あらためて“会費納入促進のお願い”と題して拙文を掲載いたしました。平成18年度の予算で見ると、いずみ会の収入のうち前受金320万円はいずみ会が会員から預かっている金なのでこれを除くと、今年度利用できるものは新入会員の入会金約110万円、会費約290万円、会員の皆様からの寄付100万円と前年度からの繰越金約300万円その他の雑収入などで凡そ870万円位です。現在の会員約2万2千人として、一人当たり約400円にしかありません。この数字を多いと考えるか、少ないと考えるかどちらが正しいと決められるものではありません。

しかし、多くの会員の皆様を力活用させて頂き、会員の皆様のお役に立つように『人材バンク』設立の準備を進めるなど、資金需要もいろいろあります。会報も、従来は12ページ+2ページ(会費納入者一覧表)の14ページでしたが、本号は50号を記念し16ページに増し、一部カラー印刷を採用しました。会員の皆様が心を通わし交流を深める場のひとつとして、会報については今後とも一層の充実を図りたいと考えています。その郵送費も、住所の判明している全ての会員の皆様に会報をお届けするためには、約220万円の郵送費が必要となります。

皆様のお役に立つ仕事をするための資金の需要は今後も益々増えるものと考えますが、今後、会員数は減少してゆきます。ご承知の通り、東京都教育庁は大泉高校を、中高一貫教育校として指定しました。実施されますと、将来のいずみ会への入会者は毎年5組×40名で200名と予想されます。かつて、500人を超す卒業生がいたときを考えると半分以下になってしまいます。

60年を超すいずみ会の伝統を受継ぎ、未来の後輩たちに引き渡すためには、従来以上に、会員の皆様のご協力をお願いすることになりますが、更に、同期会とかクラス会とかの機会には、皆様声を掛け合って一人でも多くの会員の皆様が資金面でも、入会金、会費あるいは寄付という形でいずみ会をご支援下さいますよう、重ねて、お願いいたします。

会計部長代行 杉山 肇 (高6期)

平成17年度 新入会員入会式報告

いずみ会は、卒業生全員を新入会員として受け入れていますが、都教育庁の要請があって、3年前から新入会員の登録や入会金の徴収を会が自主的に行っています。

平成17年度卒業生(高58期)に対しては、昨年より前倒しで、10月下旬に3年生のクラス担任の先生にお願いして、登録カードと入会金の払込票を配布していただきましたが、12月までに、全員が会員登録を済ませ、同時に入会金の納入も始まりました。

いずみ会では、卒業式前日の予行日に「入会式」を開催し、入会歓迎の挨拶、OB・OGの活躍ぶりや会の活動状況のPR、各クラス評議員の紹介、入会金納付の呼びかけなどを行っています。

本年の入会式は、3月13日に母校体育館3階の卒業式会場で開催されました。大場修一副会長(高16期)より、卒業を祝し、卒業生の全員を同窓生として「いずみ会」への入会を歓迎するとの挨拶があり、高校58期生も掲載されている「いずみ会名簿・創立60周年記念版」を、卒業記念品として全員に贈呈しました。

入会式の後、円形校舎3階のいずみ会事務室に、各クラスの評議員や生徒達が順次上

■高校58期 評議員一覧(敬称略)

がって来て、「同窓会にこんな部屋があったんだ!」と喚声が上がり、	(1組) 木村 朋行	佐々木 梨江
グリーンの表紙の色鮮やかな名簿を次々と受け取っていききました。	(2組) 高橋 達徳	前川 典子
こうして、新入会員275名は会員としての	(3組) 石塚 歩登	澤本 彩夏
第一歩を印しました。	(4組) 榎本 誠	林 薫里
	(5組) 秋山 大海	五十棲 雄高
	荻野 夏子	種村 真里
	馬場 雄大	
	(6組) 鈴木 彩織	長野 光一郎
	(7組) 澤田 佳織	種村 康弘

「5の会」の 60周年記念行事

時は2004年10月31日、総会後の懇親会で「4の会」比嘉高氏(高4期)から「5の会」久我裕氏(高5期)に厳かに【ペナント】が渡され、これで本当に「5の会」担当の60周年記念式典と懇親会が始まるのかと身震いがしてきた。

“いずみ会60周年を祝い、全会員で記念行事を楽しもう!”をスローガンに会合を持ち、青山喜彦60周年記念事業実行委員長(高5期)のもとに、副委員長に松岡五郎(高5期)、久保田繁(高15期)両氏を、事務局長に村上広氏(高15期)を選出。高校5期(嶋正彦氏、大澤)、高校15期(中川徹夫氏、仙澤龍雄氏、森田陸四郎氏)、高校25期(會田幸子氏、谷口俊三氏、宮川修作氏)、高校35期(下村玲子氏)、高校45期(中邨良樹氏)のメンバーを中心に委員会を組織して取りかかった。

会合は、大小混ぜて数知れず(月2回以上)開催された。いずみ会室や加藤勇氏(高11期)所有のマンション会議室で、時には夜遅くまで議論を闘わせた。問題点は数々あったが、とりわけ会場の選定が難問だった。50周年経験者、同期会経験者、高校関係者などなど、皆それぞれに意見と理屈があり、結果として母校大泉に決着した。

具体案の作成段階からは、「5の会」メンバーに加え、いずみ会から有田二郎事務局長(高6期)、大高光蔵総務企画部長(高13期)、西澤正博氏(高28期)、清水由里氏(高28期)の戦力を得て、記念行事の成功に向け突進していった。期日が近づくに従い拡大委員会の増員を図ることとなり、多くのいずみ会員に快く引き受けていただいた。当日の役割分担名簿には、2001年卒業の西

敬徳氏(高53期)をはじめ148名もの名前が連なり、皆それぞれにご活躍いただいた。この場を借りて厚くお礼申し上げたい。

「5の会」会員には、スローガンに“5で、GO、GO!”を新たに加えて参加者を募った。最後の心配は天気だった。

2005年11月26日、式典当日は快晴でしかも暖かく、大泉学園駅方面から歩いてくる沢山の参加者を出迎えながら、私は感激していた。

体育館3階では刻刻に會田氏の司会で行事が始まり、吹奏楽から記念式典、総会、杉山武彦一橋大学長(高15期)の講演と進み、引き続き会場を1階に移しての祝賀会・懇親会と盛り上がり、正垣教義氏(高15期)指揮による校歌、校友の歌を大声で合唱した。

そしてあの【ペナント】を「5の会」嶋氏から「6の会」井上暉夫氏(高6期)に手渡し、「5の会」の大きかった役目は無事終わった。大澤の音頭で三本締めをして、盛会のうちに記念行事は閉会を迎えた。同窓生を送り出す青山実行委員長の目が潤んでいたのが印象的だった。

「5の会」のメンバーの皆さん、本当にご苦労さんでした。さてよ、70周年はまさか「5の会」が担当ではないでしょうね。

大澤 登(高5期)



三本締めでまいりましょう!!

ることとし、開催時期も従来の6月から10月に移して、この構想を実現することとなったのです。

この試みは、懇親会の運営や集客の点で大成功を収め、参加した多数の会員の評判も上々でした。翌年の「7の会」への引継ぎも円滑に進み、以降この方式が定着し、年を追って懇親会の内容も工夫がこらされ、充実したものとなりました。

この流れと実績を受け、昨年度は「5の会」を中心にして「いずみ会60周年記念事業実行委員会」が結成され、秋には母校大泉高校で「いずみ会60周年記念式典・祝賀会」が盛大に挙行されたことは、皆様ご承知のとおりです。

そして今年は、当番期制がいよいよ2巡目に入ります。この10年間の歴史と実績を振り返ると、最大の課題は若い期の取り込み、参加の拡大です。

「新6の会」では、これを踏まえ、若い会員との交流・親睦を更に深めよう、若い期の参加をもっと増やそう、楽しい充実した会にしよう、という抱負の下で準備を進めています。どうぞご期待ください!多数の会員のご参加をお待ちしております。

新6の会:大場修一(高16期)

人材バンクが いよいよ動き始めます

昨年10月にご案内いたしました趣意書に約170名の登録がありました。

《カテゴリー別には》

法曹界・9名。税務・経理・3名。建築関係・11名。事業・経営者・16名。芸術・芸能・16名。学者・教育界・25名。医学等・10名。マスコミ・7名。技術・12名。スポーツ・6名。金融・5名。その他。

一部カテゴリーに納まらない人がいらっしやいましたが、皆さんすごい人たちです。引き続き募集中です。自薦他薦を問わず、ご登録をお願いします。

《今後の推進について》

1. 名簿を分かりやすく整理し、作成します。(※個人情報に留意します。)
2. 登録者の初顔合わせ・交流会を来年2月に開催します。
3. 新校長のお考え・ご要望に、出来るだけご支援・ご協力を行います。
4. いずみ会・会員活性化として、先ず出来ることからスタートします。

- 1) いずみ会室を活用した、教室・講座を順次・開催します。(定員10名程度)
- 2) 趣味を通し、特に初心者への入会促進とサークル化を図ります。

- 3) 参加費用は原則無料、実費負担。(講師の皆様にも負担を掛けません。)
- 取り急ぎ、下記内容が決定しました。

①「源氏物語が今、新しい」

テキスト用意いたします。

※先着順10名まで

(講師:大軒史子・高9期、元青山学院女子短大講師)

②「生き生き健康マージャン教室」

初心者大歓迎、ベテランもどうぞ。

(代表幹事:青山喜彦・高5期)

③「人生がゆたかになる・囲碁同好会」

初心者へ懇切指導、ベテランもどうぞ。

(代表幹事:田島寛・高10期)

★これからのご案内はHPで行います。

お問い合わせは総務企画部大高まで。

★上記3講座に参加ご希望の方は、同封のハガキにその旨ご記入下さい。

文化祭参加報告

平成17年9月18日(日)・19日(祝)の両日、大泉高校の文化祭が開催されました。

いずみ会では、今回も「いずみの広場」を開放し、「いずみ会文庫」の蔵書約180点を展示しました。4年目となるこの企画は相変わらず好評で、前年をさらに上回る述べ532名もの方にご来場いただきました。

大泉高校の歴史を刻んだ数々の展示物や昔の校舎等を写したパネルを前に、大泉の伝統を改めて確認された保護者の方も多くいらっしやいました。学校見学に来たらしい中学生とおぼしき面々も、有名人の著作の数々に刺激を受けた様子でした。

会報がお手元に届くときには、今年の文化祭は終わってしまっているのですが、毎年9月に開催しておりますので、是非一度母校の「祭」にお越しください。

2巡目への期待と抱負 若い力を求めて

平成7年秋、いずみ会創立50周年記念祝賀会が、800余名の参加をもって盛大に開催され、田中英道前会長(現顧問、中2期)のもと、新生いずみ会初めての大事業として、大きな盛り上がりを見せました。

この記念祝賀会は、平成3年の母校創立50周年をお祝いするために結集した、各期の幹事を中心としたメンバーが、新生いずみ会として、組織の再建のために規約を全面的に改正し、会費制を導入し、名簿の整備を改めて進め、いずみ会としての基盤を再構築するための契機とすべく、総力をあげて実施したイベントでした。

この活力を翌平成8年以降も持続し、いずみ会の活性化を確実に進めていこうという気運が盛り上がり、例年参加者も少なく低調であった総会・懇親会を、それまでの執行部主導ではなく、各期の創意・工夫を結集した運営に変更したらどうかとの提案が出されました。

そこで、具体的には、1996年度にちなんで、卒業期の末尾一桁が6の期(当番期)が「6の会」を結成して準備と実施にあた

着任のごあいさつ

校長 小林 洋 司



藤井前校長先生の後を受けて、この4月に足立工業高校から着任しました。以前本校へは2度来たことがあります。まさか自分の勤務校になろうとは思っていませんでした。本校の第一印象はとにかく広いということです。23区内の都立普通科高校としては、随一と聞いていますが、単に敷地だけでなく校舎も広いと感じました。生徒諸君は、授業はもとより、部活動に熱心に励んでいる姿が印象的です。授業も静かな中で行われており、私が今まで勤務してきた学校の中では最もよい学習環境です。平成22年度から中高一貫教育校へと移行しますが、その準備をするのが私の役割だと思っています。併せて、地域や保護者の期待に応えて、これまで築いてきた本校の実績をさらに発展させることも重要な使命だと考えています。自宅が千葉県です。今までは東部地域の都立高校に勤務しておりました。通勤は、県境である江戸川を含めて、全部で5本の川を渡り、片道50キロの移動です。専門は政治経済ですが、歴史地理にも興味を持っています。着任当初、本校の校名でもある「大泉」の地名は、どこから発生したのであろうかと考えました。おそらくは昔この地域のあちこちからわき水が出ていたのが地名の起こりであろうかと思っています。それらのわき水が集まって白子川、石神井川のような川ができたのであろうと勝手に想像しています。何はともあれ、どうぞよろしくお願いいたします。

進路状況

(浪人生を含む)

「国公立大学」

北海道1、東北1、埼玉6、東京外語3、東京学芸7、東京農工4、東京工業4、お茶の水女子1、電気通信4、横浜国立2、鹿児島1、弘前1、山梨1、静岡1、香川1、宮崎1、首都東京4、大阪市立1、国立看護大学校1、航空大学校1 合計46名

「私立大学」

青山学院15、亜細亜5、跡見学園女子2、学習院15、学習院女子2、神奈川4、北里5、杏林3、国立音楽1、慶応義塾10、工学院4、国学院4、国際医療福祉1、国士館2、駒沢18、芝浦工業14、順天堂2、城西2、城西国際2、上智10、昭和1、昭和女子2、昭和薬科2、女子栄養1、白百合1、成蹊23、成城8、専修7、大正3、大東文化7、拓殖1、玉川2、多摩美術1、中央33、津田塾1、帝京2、帝京平成2、東海5、東京家政5、東京経済1、東京工科1、東京女子6、東京女子医科1、東京電機7、東京農業11、東京薬科1、東京理科19、同志社4、東邦1、東洋24、独協4、日本30、日本社会事業6、日本獣医畜産2、日本女子6、日本女子体育1、日本

男子ソフトテニス部 関東大会進出

僕達男子ソフトテニス部は、今年関東大会に団体で出場することができました。僕達は関東大会出場を目標として練習してきました。

今思うと頑張って練習してきて本当に良かったと心から思います。練習には休みが無く、毎日毎日、雨でも練習してきました。



ソフトテニス部代表チーム
前列左から3人め(手に帽子)が開くん
後列左端が顧問の芦田先生

毎日なので怪我もちょうちよくしてはいましたが、みんなそれを耐え抜いてきました。

関東大会出場を賭けた東京都選団では、ベスト4決めで、冬に大敗した学校と再び当たりましたが、リベンジすることができました。結果として東京3位になり、関東大会出場を決めました。皆抱き合って喜びました。それほど僕達はこの大会に賭けていました。僕にとっては引退も掛かっていたので気迫がみなぎっていました。

6月3日に宇都宮市で行われた関東大会では、1回戦目に山梨の石和高校と当たり、負けてしまいましたが、ストレート負けではなく、最後のペアまでもつれる試合となりました。この結果を見て、今まで僕達がやってきたことは間違いではなく、頑張っただけの結果が出ました。これも先生やOB・OGの方々、そして支えあってきたチームメイトのおかげだと思います。ぜひ後輩たちには来年も出場してもらいたいと思っています。

開 健登 3年

女子バスケットボール部 都大会進出!

東京都には、都立・私立合わせて335校の女子バスケットボール部があり、1部から4部まで分かれていて、年に3回入れ替え戦が行われます。ベスト16までが1部となっています。

大泉は、先輩たちの代から、毎回1部に挑戦するものの、あと一歩のところまで1部になることが出来ませんでした。

自分たちの代となり、研修大会・区民大会共に優勝し、一年生も入り総勢39人で挑んだ6度目、自分にとっては最後の大会。心強い応援に後押しされ、一人一人の集中も高まり、東京立正を破り、1部昇格を果たすことができました。この成績は大泉のここ25年で最高の成績です。

最後の試合は前年度全国優勝の東京成徳とでした。最初はスピードに圧倒されたものの、後半は5点差と健闘し、見ている人に楽しさと感動



を与え、悔いの無い最高の形で自分は引退することができたと思っています。

都ベスト16という結果を残せたこと、最高の指導者山下先生にバスケを教えてもらうことができたことを光栄に思います。部員一同大好きな山下先生、友達、先輩、親、支えてくれた全ての人へ、今まで有難うございました。

これから女子バスケットボール部をよろしく願います。 笹本望幸 3年

赤十字看護1、文化女子1、文教3、法政38、武蔵22、武蔵工業2、武蔵野5、武蔵野美術3、明治60、明治学院15、明治薬科6、目白1、立教42、立命館6、早稲田55、その他27 合計640名

「短期大学」

埼玉医科1、東京家政3、東京成徳1、東京農業1、日本歯科1、武蔵野女子1、山脇学園1、立教女学院1 合計10名

教職員人事異動

「転出・退職」

() 内は転出先等

校長 藤井文雄(清瀬高校)
地歴 鈴木基(杉並総合高校)
数学 蘭山惣吉(向丘高校)
化学 笠原一郎(井草高校)
体育 林雅俊(田柄高校)

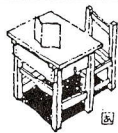
音楽 高橋ひな子(大泉桜高校)
英語 町田俊子(西高校・嘱託)
地理 河野守宏(退職)
事務長 小山喜代子(経営支援センター)
主任 今野和之(経営支援センター)

「転入」

() 内は前任校等

校長 小林洋司(足立工業)
国語 石村晶子(新規採用)
地理 浦邊浩之(雪谷高校)
数学 田村陽(武蔵丘高校)
化学 鈴木弘幸(板橋高校)
音楽 西田豊(東村山西高校)
英語 牧益子(駒場高校)
世界史 金子潔(北多摩高校)
保健体育 井田勝行(小石川高校)
経営企画 浜口徳広(高島養護)

同期会だより



中1期

喜寿の会

春日 孟

平成17年11月26日、勤労福祉会館内「味三昧・大泉学園店」にて、喜寿(77歳)の会を行った。略々生存が確定される174名中、住所の確認できている106名に案内を出し、返信にて出席希望者は48名でしたが、当日はその内36名が出席した。

同日の60周年の祝賀会には中1期生は18名が出席し、午後3時15分にいずみ会の好意で我々の退場時間がアナウンスされ、盛大な拍手の内に会場を後にして、第二会場の「味三昧」へ向かった。多くは古希の会以来の母校への出席であったので、道順に迷いながら、会場へ到達した。まず、玄関前広場で記念集合写真を撮り、和室会場へ入り、思い思いに席に着いた。ついで、今月までに逝去された同期生の冥福を祈り、黙禱を捧げ、中1期世話人代表・藤本直が歓迎と祝いの挨拶を行い、会食に入った。会たけなわに、全員の自己紹介と一言の挨拶を聞き、欠席者の返信(近況)を回覧した。

戦時下、中三で授業が打ち切れ、学徒動員、翌年は学校に戻ることなく、進学等夫々の道を選び、今回、高齢ながら元気の学友と共に、再び思い出話に時を忘れ、和気藹々のうちに過ごし、よき教育を与えて下さった恩師に感謝し、次回の会合を楽しみに、散会した。



高8期

歌おう!

岡崎 美代子

去る、4月22日(土)午後2時から、池袋東武パンケットホールにて、3年振りに同期会を開催しました。昼の開催は初めてでしたが、100余名の出席者があり、先生方は土屋先生、畑野先生、中山先生がご出席くださいました。遠くはオランダから草野さんもこの日のために駆けつけて来ました。彼には一番の遠来者ということで時差ぼけのまま乾杯の音頭をとってもらいました。

今回は「卒業50周年記念の会」と銘打った為、卒業以来初めて出席した人、10年ぶりの人など気さくな話の中、料

理が減っていくのも、時間が経つのも忘れるくらいでした。司会者の茂木さんの「全員で歌おう!」の一言に元コーラス部員や酔った飛び入り組が正面舞台上がり、賑やかに滝廉太郎の「花」をはじめ「高校三年生」「若者たち」「青い山脈」など、ぶっつけ本番で大合唱しました。拍手喝采、大爆笑の中、肩を組み合わせながら席に戻る人もいたりで大盛況でした。

終わりに校歌と校友の歌を斉唱し、5時にお開きになりました。このあと殆んどメンバーが二次会の会場へ移り、語り尽くせなかった思い出話に再び花を咲かせ、宵闇が迫る頃、再会を楽しみに帰途に着きました。



2006/4/22 於池袋東武
大泉高校8期会/50周年

高7期

祝賀会の7期生

山田 清子

祝賀会、7期生は何人集まるかしら? 20名? 少なくとも15名は参加してくれるのではないかと、会報の封筒にチラシを同封したのですが…。当日の参加者は15名でした。大勢の参加者で祝賀会場が三ヶ所に分かれたので、誰それが二階で誰かを探していたとか、大会場では誰かさんが何先生と話をしていたとか、情報は耳にするものの、7期生が集まることは出来ませんでした。それでも私を見つけてくれたTさん、「この機会を逃すといつ会えるかと思って来たけれど、参加者はすくないわねえ」と、ちょっとがっかりした様子。彼女とは何十年ぶりの再会です。



そう言えば7期生の多くはまもなく古希を迎えます。近々同期会を催したほうがいいのかなあ…とぼんやり考えていたところ、先輩から足立明昭さんの訃報を知らされました。なんとも哀しくやりきれない想いです。足立さんは四国の土佐清水にお住まいだったので、詳しいことは判らずただただご冥福を祈るばかりでした。

祝賀会は大盛況。参加者はそれぞれ久しぶりの再会を懐かしみ、楽しく帰路に着きました。8名ほど別れがたく大泉駅近くの居酒屋で二次会となりました。写真の面々誰だかわかりでしょうか。来年の総会は7期が当番です。多数の参加を期待します。

高28期

楽しかった思い出再び

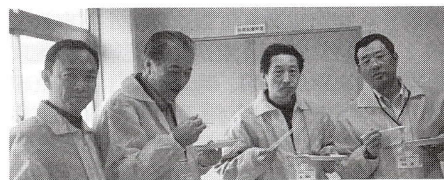
奥山 晴英

昨年11月、いずみ会60周年記念総会に合わせ28期ミニ同期会を開催いたしました。準備期間も短かったため、「ミニ」としましたが、予想以上の参加で、女性が半数以上を占め、総勢70名近くが集まりました。25期の先輩の方々とも同じ会場だったため年次を越えた交流もあり、たいへんな盛り上がりを見せました。

28期の同期会には歴史があり、最初は10年前に、4年前には2回目が行われました。その後はクラス単位で、また2年や1年のときのクラスでも行われています。有志や同好の集まりもあり、現役時代とは一味違う楽しみを味わっている方が多くいます。新たな参加者も大歓迎です。

4年前の同期会をきっかけにHPを立ち上げました。ネット環境の充実もあり、簡単に連絡が取れ、様々な情報を共有できるようになったことも、同期の集まりが活発に行われている一つの要因と思われますが、何より「楽しかった思い出を再び」と考えている方が多いからなのではないでしょうか。

28期HPをご存知ない方は、いずみ会HPのリンクをご覧ください。掲示板に投稿いただければ連絡は簡単です。まずはHPを活用しての積極的な参加をお願いします。



高31期 26年前の“今”

高橋 大輔

31期では'05年8月20日に池袋のホテル・メトロポリタンにて同期会を開催いたしました。2年連続の開催です。前回の出席者の中に「ぜひ来年も！」との声が多かったことから、各クラスの連絡係を中心に早い時期から名簿のメンテ及び同期会の準備に時間を割いた結果、当日は同期生98名・先生7名の出席をいただき、大盛況となりました。先生の中には退院直後で体調が心配された幸田先生(数学)もいらっしゃいました。このわずか100日後に先生の訃報に接した時、やりきれない思いの反面、8月にお会いしてよかった!と思った同期生も多かったに違いありません。改めてご冥福をお祈りします。

さて、会場は開宴前から26年前にタイムスリップしたような不思議な空気に包まれ、荻野先生(英語)のご発声による乾杯と同時に出席者のテンションは急上昇。先生方の近況報告・クラス写真撮影の後、清水先生(国語)と松林君による歌の余興と続き、最高潮を迎えます。そして最後は恒例の「校友の歌」大合唱!通常よりも長く3時間取った一次会もあつという間にお開きとなり、語り足りない60名以上の同期生は二次会へと流れて行ったのでした。(当日の様子は31期のHPでもご覧いただけます。<http://www.ohizumi31.net/>)



高35期 35期の「いずみ会60周年」

湯浅 幸子

昨年の「60周年祝賀会」へ向けて35期では「呼びかけ人」を各クラスから最低一人立てよう努力し、1組:服部君、田平君、3組:松本君、宮川君、宮岡(江幡)さん、7組:松本(梶谷)さん、8組:田平(永田)さん、9組:下村(児島)さん、小林(杉浦)さん、富岡(鋤柄)さん、湯浅(三浦)のメンバーを中心に呼びかけ、約40名が集合。在校中お世話になった先生方と懐かしい時を過ごすことが出来ました。でも、こういう席には必ずお顔を出されていた、あの幸田先生のお姿が見えなかったので残念だなと思いつつその場を後にし、皆で二次会へ。ここでも気さくな時間を過ごしました。

この再会から約2週間後、清水先生から

幸田先生の訃報が届きました。奇しくも二次会のために数ヶ月かけて約50名のアドレスを調べ上げていたので、すぐに皆へ連絡を取ることが出来ました。

これは運が良かったのでしょうか?いえ、運が良ければ元気な先生にお目にかかれていたはず。しかし、もしこの式典がなかったら清水先生は私に連絡をくれたでしょうか?50名へ連絡できたでしょうか?せめて最期のお別れができたことに運命的なものを感じずにはいられません。

懐かしい友が歳を重ねた姿に喜び、驚き、幸田先生と過ごした年月を懐かしみ、悼み…。私たち35期にとってはたった2週間で時が一度に流れてしまったような、そんな2005年の年末となりました。

祝賀会の風景



高45期 共有した時間

中邨 良樹

昨年11月26日、練馬「パンコントマテ」にて45期同期会が開かれました。当初、出席者は40名を予定していましたが、参加者が声を掛け合って、開催間際には約2倍の人数に。店舗を貸しきりました。

年齢上、仕事に家庭にと忙しい時期。“仕事の関係で何時に行けるかわからない”、“子どもがいるから遅くは無理”という方々のために、18時からはじめ、何人増えてもいいように手配。授乳室、禁煙所なども設けました。結果、“お母さん”がお子さん連れてで参加したり、不参加の予定だった“ビジネスマン”が駆けつけたりと賑わいを見せました。

卒業後10年以上もたつと、面影はあるも

の顔つきが凛として、すぐには誰とわからない人も多く、最初は静かに始まった同期会。しかし、時間がたつにつれ、思い出話に花を咲かせたり、当時は話したことのない人とも打ち解け、それぞれの“今”を伝え合いました。“「高校時代」という時間を共有した”ということは、不思議に心を開かせるようで、一次会は和気藹々と幕を閉じました。二次会の参加者も多く、総勢約120名が集まりました。

「行けばよかった!」と後悔している皆さん、次回はぜひご参加ください。



高13期 総会後も盛り上がる

國澤 妙榮

記念すべきいずみ会60周年の総会に、13期は25名が出席した。同期理事諸兄のメール、電話等を使った熱心な誘いの成果であったと思われる。

懇親会は互いに席を変わって歓談し、そのまま殆どどのメンバーが二次会へ出席することとなった。

二次会の会場は予約してあるはずが、入っていないというハプニング。しかも大泉周辺は、いずみ会の人でどこも超満員。やっとのことで駅前の中華料理店を借り切ることに成功。あとから加わるはずの5名は会場の変更を知らず一時行方不明になったり、やっと合流した会場はすし詰め状態となった。それがかえて楽しさを増す結果となり、仲間だけの気安さから話は盛り上がった。出席者が自己紹介をすることとなり、現在の仕事、自分の生き様、60半ば近くになったの夢、等々思い思いに話をした。その話にうなずいたり、笑ったり、感動したりで、卒業から40有余年その人それぞれの人生を新たに発見した。

その感動覚めやらぬままみな別れ難く、再度会場を移して大泉の素敵な仲間と楽しいひと時を過ごした。総会に出席してよかった!という思いを心に解散となった。気がつけば夜半過ぎであった。



OB・OG会



Mint Julepを聴く

北上 俊人 (高11期)

7月も末の28日、江古田のKEI-IIIというライブハウスで〈ミントジュレップ〉というグループの演奏を聴きました。メンバーはいずれも大泉高校の卒業生たちで、大和田慧(高56期)Vo、大関麻子(高55期)Pf、奥野裕介(高51期)AG、という若い面々です。確実なリズムを基調にした明快な歌声で数々のオリジナル曲が会場に響き渡りました。「絶望のかけら」という曲は、心にきざした暗い想いをあえて明るい曲調に乗せて歌い上げる作品で、そこにかえって内心の葛藤を感じさせるなど、全体に趣向に富み、迫力のある演奏でした。聴衆も手拍子で応じました。このトリオは結成以来都内や他府県での演奏活動を重ねて3年目に入ったとのこと。今後の充実発展への強い意欲と、未来を切り拓いていく力量とを併せ持ったこのミュージシャンたちが、一步一步進んでいく道程を楽しみにして見守りたいと思った一夜でした。



ゴルフ会やっています!

横田 可也 (高9期)

4~5年前から、「大泉高校・演劇部OBゴルフ会」を年2回「赤羽ゴルフ場」で行っています。現在幹事は私、高9期横田です。レギュラー参加者は佐藤英雄さん(高3期)、塚田圭一さん(高4期)、田村茂さん・高橋康也さん・周藤晃さん(高5期)、角谷優さん(高9期)、それに私の7名。ゲ

ストを迎えて、8名でやることもあります。2回ほど出席してくださった、関川裕さん(高23期)が先日亡くなりました。残念です。ゴルフ会後は必ず佐藤先輩の店「だるま」に集合。次回へ向け鋭気を養っています。参加ご希望の方はぜひ、幹事までご連絡ください! tel. 03-3945-3290 横田



開催しました!

◆高10期では4月に宇高先生を囲む会、6月に中山先生の喜寿を祝う会を担任クラスであった3Fと3Dが中心となり、有志も加わってそれぞれ20~30名が集合。和やかなときを過ごしました。

◆札幌いずみ会も3回目となる集まりを楽しみました。

お知らせ

■高9期同期会

日時:平成19年6月2日(土)4時~6時
場所:東海大学校友会館(霞ヶ関ビル33階)

卒業後50周年を祝して開催します。

詳細は後日ご連絡いたします。

■高10期同期会

日時:平成18年11月11日(土)午後5時より

場所:アルカディア市ヶ谷(私学会館)

会費:8000円・二次会2000円

2年ぶりの集いです。参加おまちしています。幹事一同

■高15期同期会

日時:2006年11月4日(土)

場所:アルカディア市ヶ谷

代表幹事:G組 岡島聖三

連絡係:B組 村上広

OB・OG会窓口一覧

◇剣道部 和田真保(高37期)・◇山岳部 山下嗣夫(高9期)・◇サッカー部 稲垣智之(高33期)・◇柔道部 柳浦康宏(高37期)・◇水泳部 阿部将和(高47期)・◇ソフトテニス部 石橋直彦(高23期)・◇バスケット部 秋田茂(高29期)・◇男子バレー部 丸山和郎(高13期)・◇ボート(漕艇)部 渥美龍嗣(高48期)・◇野球部 角原雄一(高10期) 宇山秀明(高20期)・◇ラグビー部 酒井陽三(高18期)・◇大泉バリアンス(陸上部) 戸田敏治(高46期)・◇ESS(英語部) 木村武彦(高26期)・◇演劇部 佐藤英雄(高3期) 秋山京子(高11期)・◇OB・OG合唱団 磯波英児(高6期)・◇おたまじゃくしの会 正垣教義(高15期)・◇軽音楽同好会 宮本正信(高20期)・◇社会研究部 城戸恵一(高11期)・◇写真部 仲沢浩一(高32期)・◇将棋部 西澤幸夫(高29期)・◇新聞小委員会 羽根田達治(高10期)・◇吹奏楽部 中島一(高48期)・◇天文部 小杉哲也(高40期)・◇王の会(旧職員囲碁) 菊谷義美(中2期)・◇助教の会 関屋収(高20期)・◇札幌いずみ会 喜多村喜美江(高24期)・◇ゴルフの会(演劇部OB) 横田可也(高9期)

平成18年度学校年間行事

4月7日・入学式
4月10日・対面式・オリエンテーション
5月10日・体育祭
8月・夏季合宿
9月17~18日・文化祭
10月7日・授業公開、学校説明会
10月14日・開校記念日
11月3日・授業公開、学校説明会
平成19年
1月17~20日・HR合宿(沖縄)
3月13日・卒業式
3月23日・修了式

会員訃報(敬称略)

心よりご冥福をお祈りいたします。

中1期	長部 矜一郎	平成6年10月
中1期	加藤 昭	平成17年11月17日
中1期	黒瀬 誠	平成16年3月14日
中1期	富永 芳輝	平成17年3月19日
中2期	江崎 公昭	平成18年1月
中2期	神取 久吉	平成16年
中2期	塩川 泰通	平成16年12月
中2期	鈴木 実	平成15年1月
中2期	照沢 康晴	平成17年4月28日
高1期	内海 正	平成17年6月7日
高2期	伊東 直之	平成17年6月22日
高2期	桜井 宏	平成18年3月13日
高2期	中村 春節	
高3期	鴻田 一章	平成17年2月14日
高3期	須藤 尚宏	平成17年10月1日
高3期	山口 顕二	平成14年10月29日
高3期	川口 利夫	平成18年6月5日
高4期	小山 五郎	平成18年3月
高4期	鈴木 恵吉	平成18年1月
高4期	高梨 熙	
高4期	中林 清市	平成17年3月10日
高5期	浅田 秀一	平成17年5月15日
高5期	大芝 進	
高5期	風祭 寛二	
高6期	沖村 光信	平成17年10月
高7期	足立 明朗	平成17年11月22日
高8期	草場 秀外	平成18年1月12日
高8期	山口 忠正	平成15年11月2日
高10期	高橋 俊夫	平成18年7月12日
高10期	大塚 洋一	平成18年4月
高10期	塚本 陽	平成17年7月
高11期	岡(加納)喜久子	
高12期	永島 秀幸	平成17年12月16日
高14期	水口 成子	平成18年5月20日
高14期	書上 由紀夫	平成18年4月19日
高14期	真田 和彦	平成17年11月15日
高16期	堀口 俊彦	平成17年
高16期	石川 直樹	平成17年12月4日
高17期	市毛(高橋)京子	平成17年5月23日
高17期	野村 省子	平成17年1月29日
高18期	井上 行夫	平成14年1月8日
高18期	齋藤 保廣	平成15年9月3日
高23期	関川 裕	平成18年6月13日
高27期	近藤 威	平成18年4月11日
高27期	石坂(山中)純子	平成16年1月28日
高27期	門脇(池田)治子	平成10年5月13日
高30期	佐藤(稲葉)経子	平成17年12月5日
高43期	市川 敏彦	平成16年12月9日

兄妹みんな同窓生！

富田 順子 (高11期)

松本要 (高8期)・和田堯子 (高9期)・富田順子 (高11期)・吉田登代子 (高14期)・母校体育教師として19年間勤務)・鈴木憲子 (高18期)私たちは、兄妹5人揃って大泉高校にお世話になりました。兄妹5人全員大泉というのはちょっとした記録でしょ。

私といずみ会の関わりは、母校の創立50周年の時に、椎葉亮一さんが、大泉高校が出来て半世紀の記念行事だから11期で出来る限り応援しようということになり、準備委員として駆り出されたのが始まりです。

50周年記念名簿作成では、橋本武彦さん (高11期) 杉山明美さん (高18期) と三人で汗だくになりながら西武線沿線の同窓生の所に広告掲載のお願いに歩いたのも今は懐かしい思い出です。

60周年でもまた広告を担当しました。頼りになる高10期の田島寛さん、高28期の西澤正博さんの強力なバックアップのもと、会員皆様のご協力を頂き、目標をはるかに超える広告収入を確保できました。

専業主婦でしたので、先輩方にお会いしてご指導を受ける機会など望むべくもありませんでしたが、優秀な先輩・後輩にお会いできましたこと、また、会計部をお手伝いしたことで終始SOSを発信してご迷惑をかけながらも杉山肇さん (高6期) 西澤さんのご指導を受け、何とかワープロやパソコンを使えるようになったこと、とても大きな財産だと思います。



私とシャンソンコンサート

萩原 恵子 (高15期)

今年4月に私は“懐かしいあの頃”と題し大泉学園ゆめりあホールで、シャンソンコンサートをしました。昨年は「恵子歌の会」を発足し、5月に還暦“人生いいもの”と題し60年を振り返るコンサートをしましたが「歌の会」を支えてくれた人は同期の仲間たちでした。共感することばかりでした。灰色だったあの頃なのに、なぜか今懐かしく、勉強に追われいやな時代だったはずなのになぜか思い出深いのです。50歳からリサイタルを始めたのも高校で一緒だった「親友の死」が動機でした。歌ったり、演奏したり特にハーモニカの名手で私よりずっとパワフルで才能豊かだった素敵な友

が癌に倒れ、私は一番によばれました。『病気が治ったら一緒に何かしよう』高校の時と口調は変わりませんでしたが47歳というあまりに早過ぎる死はショックで50歳からのスタートの決意と情熱をより強くしてくれました。あれから11年目。地方にも度々行きますが「恵子歌の会」は大泉同期の仲間が支えてくれていますので私はとても高校を身近に感じています。



不思議な縁？

中江 和夫 (高17期)

60周年は私個人にとって大変感慨深いものがありました。と申しますのは…私の父が戦前昭和18年ごろ、室岡校長先生時代に大泉中学時代に少しの間国語の教員をしており(木下尚栄と申しましたが昭和25年に死亡)60周年という区切りに、父のことも合わせて思い起こさせられたからです。父は昭和20年の戦災で池袋の家が焼けたため、故郷の鳥取に疎開しました。そのため大泉の教員生活は2年位だったようです。私は鳥取で生まれ、父は昭和25年に結核で亡くなりました。母が実家に戻ったため中江姓になり小学校を鳥取で終え、中学のときに上京し練馬区に移り、その後大泉に入学しました。入学できたことを、父に呼ばれた不思議な縁？と感じておりました。

その私及び同期もいわゆる「団塊1期生」です。「いずみ会」60周年に続いて今年から同期が還暦年代になり「60年」という区切りの中で、大泉、父親、自分…という人生模様が昨年の記念式典の中で駆け巡り、その年にお手伝いできたことを感慨深くまた、そのような機会にめぐり会えたことに感謝しています。

大泉高校で学んだことを忘れず、また大泉高校が今後100年200年と発展することを願いながら…。

部活の延長のごとく

中島 一 (高48期)

私の所属しておりました吹奏楽部には、部活の延長のごとく、卒業後も楽器演奏を続けるOBバンドがあり、毎夏、現役生と一緒に演奏を行うサマーコンサートを中心にさまざまな演奏活動をしています。OBに卒業はありませんし、まもなく創部50周年を迎える歴史あるクラブですので、今春卒業したばかりの新人から、OB生活60年の大先輩、10年ぶりに楽器ケースを開けて復帰された方まで、幅広いメンバーが集まります。

高校時代が重ならない先輩後輩がほとんどですが、年経るごとに親交は深まり、年改まるたびにまた、新しい出会いがあります。練習を重ねて、合宿を張って、演奏会を開く。活動の基本は高校の部活動と変わりありません。思い出を語り合うというよりも、今のこと、これからのことに盛り上げられる、端から見ると少し不思議な卒業生団体です。

気がつくといつも卒業して10年が経っていました。しかし、いまだに『大泉』が日常の中にあります。

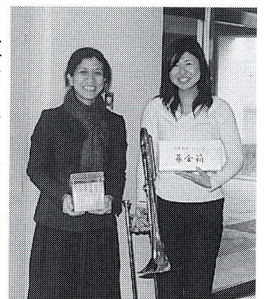


感謝！

60周年記念演奏会の後、現役の吹奏楽部員らが募金箱を手にOBOG諸氏に寄付を呼びかけましたところ、演奏に感激した多くの同窓生からたくさんの方の寄付が集まり、総額は20万円になりました。

吹奏楽部によりますと、これらのご好意は、文化祭のマーチングバンドの衣装や楽器(ファゴットなど)を購入する資金の一部として役立てるとのことです。

皆さま、ご協力ありがとうございました。



会費納入者一覧

(敬称略・平成17年度納入分)

昨年度も多くの皆様に同窓会費及びご寄付を頂き、有難う御座いました。今年度も宜しくお願い致します。今回、お名前を掲載しましたのは、平成17年4月1日から平成18年3月31日までに会費・寄付をお振込み頂いた方々です。掲載要領は各期毎に次の順序です。(単位千円)

①お名前

②会費納入額(終身会費納入の方は「終」と表示)

③寄付金額(終身会費を超えた金額は寄付として取り扱わせて頂きました)

なお会費納入のきまりは

①高校卒業後10年を経過した年度から、満70歳を迎える年までです(今年は48期の方から70歳の方までが会費納入対象者です)。対象外の方の納入は前納または寄付として受領します。年会費は千円です。過去の未納会費へは遡及しません。今年度分から頂きます。

②ご質問・ご意見がありましたら、次の担当までご連絡下さい。

会計部長代行: 杉山 肇 (高6期)

Tel: 042-773-3520

Fax: 042-773-3037

E-Mail: h.sugi@bolero.plala.or.jp

教職員他

名前	会費	寄付
須賀功	3	
杉浦雄治	5	
高島辰雄	1	
宇高ちさ	10	
永嶋正俊	4	
岡野敬生	10	
間瀬正次	3	
吉野尚也	5	
江平清	4	
甲賀多重子	7	
高橋茂	4	
佐藤恒子	4	
市村緑郎	10	
小川嘉一郎	10	
上内進	4	
須藤勝	10	
清水昭守	10	
清水真事	4	
大泉高等学校PTA	10	
堤治美	10	
服部正平	5	
鈴木隆	14	
齋藤義明	3	
中 1		
猪俣麒一郎	3	
春日孟	10	
佐藤良矣	7	
須賀功	3	
高島辰雄	1	
高柳邦夫	10	
竹田節男	2	
長井秀雄	3	
畑井富造	7	
樋田並照	1	
藤井宏	1	
本村禮二	10	
中 2		
田中英道	10	
早川嘉美	2	
中 3		
海老沢実	7	
川崎肇	13	
高 1		
池田茂	14	
服部宏	2	
藤森尚和	10	
松丸利雄	1	
林崎裕	10	
奥谷良一	1	

高 2

桜井宏	1	松本日出彦	1
稲村啓	6	村井淳一	5
大橋俊太	2	柚原修	1
神津建一	1	白勢瑛子	終
小林安次	5	石坂道子	2
清水靖夫	5	内藤楊子	3
高橋宏	6	金山和江	7
高良進	10	高 7	
武見健三	3	石間戸宗明	終
寺田福雄	2	内堀清三郎	終
畑谷治夫	2	宇野敏郎	1

高 3

五十嵐孝夫	3	小坂修一	終
石橋正雄	1	後藤英一	終
小川陽弘	1	笹岡武司	1
片岡哲哉	3	重原布政	終
片山文人	2	白戸裕	終
吉良憲一	2	関杜吉	5
小山正直	5	月野和雄	終
鈴木勝治	3	寺本殷昌	1
吉田浩	2	中川康夫	終

高 4

浅見文夫	1	桔梗玲子	終
新井秀幸	3	加藤進子	終
小澤大二	5	岩本英子	2
小野寺正臣	3	窪倉美由紀	終
小林英世	2	海老原典子	終
篠宮弘一	1	青木幸子	終
比嘉高	5	久保田敏子	3

高 8

松川誠治	10	加々尾一弘	終
宮城博	5	佐藤雄次	終
諸井勲治	3	清水真一	8
安井昇	1	浅野稠子	5

高 5

堤美穂子	3	岩田陳	1
大澤登	1	岡本正義	終
粕谷茂雄	2	北沢寛	終
川津邦雄	2	村野洋司	終
佐野旭	3	三好恵美子	終
嶋正彦	3	三浦俊久	3
高田賢	1	宮下元也	50

高 6

野村富孝	10	小西悦子	終
堀口武敬	3	大島典子	終
松岡五郎	3	滝島俊彦	2
松坂清	3	中塚厚生	10
両角宏彦	5	横田惇	2
矢吹常久	1	横田惇	終
山崎秀雄	3	頼末精一	20
鈴木定子	6	二宮靖子	1
市川悦子	2	吉田雅子	終
村井順子	1	小山和男	終
岡本周子	10	澤田あきら	終
大橋陽子	1	福井健治	1
岡本清子	2	伯耆原功	終
田中依子	3	宇田川公子	1
石原須美子	3	鶴飼徹	終

高 9

有田二郎	3	鈴木信男	1
石井岱三	16	築根和男	終
伊藤与嗣男	13	西山玄子	終
鴨田博伸	1	村田久子	終
杉山肇	1		
田畑智恵子	終		
高松範	3		
川上厚	1		
豊嶋志朗	3		
永井満	1		
新延隆造	終		
西多英治	6		

2

立松修治	2	山口英男	終 1
静間翠	終	殿前康雄	終
池田代子	1	中沢勲	5
比嘉明子	1	小林真佐子	1
岩間浩	1	山田保子	1
畝村治男	終 7	荒幡昌章	10
石村進	終	小坂信也	終 3
黒崎威	終	沢田嗣郎	2
鎌倉悦子	2	谷口宣雄	1
前田豊	3	原田昭	終 35
松沢末枝	5	平山誠	終
松沢末枝	5	川原佳史子	終 4
柚原美智子	1	相川光夫	3
高木博明	1	田伏和子	終
玉川睦子	終	寺岡雅子	1
鈴木美香子	1	今坂誠	7
石塚安太郎	5	土川ツヤ子	1
大石恭一	10	布山敦子	1
山本鼎	終 7		
山下泰子	4		

高 7

阿部基子	終 1	丸山和郎	終 3
小浜桂子	終	関根祥夫	終
河合貴代美	終 6	丸山素子	終 3
小川登美子	終 10	一瀬重郎太	終 2
小野里子	2	岡本碧男	終
柳生純磨	終 1	竹内篤巨	3
柳田明子	終	竹内延介	2
見米美登里	終 5	平野忠雄	1
越智宣子	1	松野厚一	3
日紫喜美智	終	佐藤紘二	終
野口悦子	3	高山武生	終
大谷義彦	1	田中昇次	3
金沢健蔵	2	中本攻	6
田島寛	1	山田由美子	終
藤田肇	3	土井秀子	7
本橋達朗	7	伊能玲子	2
藤森次子	終	麻生紘二	終 6
小川皓司	3	安羅恵仁	終
栗岡肇	10	市川敬二	1
山田喜照	3	裏田和夫	1
古田紘一	終 5.8	大高光蔵	1
鈴木京子	1	前川益男	終
中島三郎	終 3	早津澄子	5
		高津幸一	10
		福田起夫	1
		荒木真喜子	1
		石田徳子	10
		小川千枝子	5
		佐藤克子	3
		川田恵子	5

高 10

追川誠	10	森脇伸三	5
夏井美奈子	5	森脇玲子	終
吉田登代子	3	久美美年子	2
上原敏行	終	早川聖子	終
紀野順子	終	黒沢洵吉	3
瀬川多恵子	2	吉仲貴美子	終
村山千鶴子	3	阿部昌行	5
谷口典代	5	大津徳明	3
高木登茂子	13	中江和夫	3
市村悦子	1	荒田譲	7
岡部好秀	1	永島和雄	終
國谷俊之	6	宇山雅世	6
浦田佐恵子	6	井口政明	13
土屋待代	終 1	中村隆	5
富永恭弘	3	成田俊彦	1
本橋修明	終 20	山辺百代	10
西田淑子	3	高 18	
岡田篤	2	岡本豊	5
玉山昌利	3	湯田友子	終 6
福田勤	終 2	岩渕その子	終
光田敦	3	飯島千枝子	5
		木島薫子	5
		酒井君枝	5
		比留間弘子	終 7

高 11

今村末里子	3	石川浩達	終 1
門迪子	終	橋元宏	終 12
加藤多鶴子	3	松村宏	終 2
柴田紀江	終 5	安室正子	1
大庭靖子	1	滝沢建子	2
長島正枝	終	土生栄	終
町田訓	終 2	大久間展樹	終 10
海老原代師行	1	荻野睦子	10
鈴木要介	1	大場修一	6
中井紀京子	終	玖野峰也	終
秋山京子	終	大塚義昭	10
安藤雅男	終	尾池幸	2
倉持友昭	終	笹目勝子	2
藤本幸男	終		
片寄紘一	2		
板倉邦臣	終		
岩崎信行	2		
小林一博	終		
笹森隆昭	1		
石崎紘	2		
杉野芳代	終		
三浦和子	3		
富田順子	3		

高 12

阪本桂造	10		
林迪義	2		

高 13

--	--	--	--

高 14

--	--	--	--

高 15

--	--	--	--

高 16

--	--	--	--

高 17

--	--	--	--

高 18

--	--	--	--

湯川玲子 5	登坂薫 1	萩原正俊 終 3	武田信正 5	田中宏尚 4	高 33	高 39
湯川玲子 5	宇山秀明 1	小林栄子 1	高 27	谷嶋牧夫 2	小川京子 1	並木義弘 2
石田まち子 10	並木雄平 3	後藤洋子 2	海津博之 3	高橋智子 2	海老沢良弘 3	丸橋茂晴 5
船津道子 5	乃美和夫 5	田中かほる 5	伊藤由美 1	岡野稔 5	後藤佳子 2	大塚竹郎 6
川辺智子 5	宮本正信 1	金子優子 10	青野博由 3	蔵田恒夫 1	寺田勉 2	毛利伸介 6
小出薫 5	小山憲一郎 2	矢部政子 1	荒賀康徳 3	鈴木伸司 3	中村まゆみ 7	岩本一盛 4
岩崎誠 1	田中憲太郎 1	佐藤倫子 5	飯田良弘 1	伊東幸子 2	数見佳子 1	岩田祐子 3
上原徹 5	山本久夫 1	茂内美和子 3	久下亨 1	石井秀樹 1	矢口秀哉 2	高 41
宮田健治 終	藤本均 1	吉川隆弘 3	矢部泰博 3	長谷川政光 1	森田優子 1	伊藤敦 1 2
斉藤裕子 5	高 21	赤松敏子 3	諏訪峰子 1	松崎義隆 1	小松朋子 3	大橋徹也 3
青木隆 2	上田豊 3	高 24	大久保高秀 10	森田栄子 1	佐藤清 3	高 42
青木隆 3	植村久 3	瓜生原信輔 4	鈴木睦 4	戸田麻理 3	氏原洋子 1	小松原良次 1
関馨 終	並木芳雄 終	福嶋雅喜 終 6	宮館靖 1	長谷川祥子 2	片山成美 6	長岡聡子 1
狩野哲夫 12	大和田誠 5	星野明義 1	川口純一 終	植松光義 5	森谷誠 3	長岡聡子 1
小島高志 3	北嶋暁子 6	小林健治 1	横島晃 10	大久保靖 1	戸原真由美 3	瀬川亜矢子 1
横地棟器 2	門田順子 2	真柳仁 1	益村典子 3	大久保小舟 1	高 34	藤田夏代子 1
高 19	長田宣治 1	山川新 終	浜田和章 終	大門誠 1	木村智寿 1 1	宇田川滋正 7
長谷川早苗 3	小林明子 3	南部真知子 1	山館昌代 3	杉山正樹 1	木村伸子 1	和田東樹 1
花満恵美子 5	佐々木幸子 終 2	木本芳夫 1 2	北條典子 3	尾首容子 1	山田真由美 1	高 43
豊島健 3	内田知子 1 10	斎藤聡 5	渡辺真有美 2	田中秀美 1	篠原一馬 7	柄本富美子 3
細田栄能介 3	長富育子 10	島田雅史 5	大久保敦子 2	高 30	田代研 5	重岡希 1
吉沢治恵 終 6	守本純 3	小池聡 7	高橋真紀子 1	五十嵐透 5	嶋辰一郎 終 2	市川敏彦 10
武藤志津子 3	水島かえ江 5	柴山利美 7	斎藤薫 2	大坪由佳 1	高 35	嘉永領 1
竹内美栄子 10	石井逸子 5	原田公彦 10	岡橋典子 10	羽田智 10	田村浩平 5	石井星 3
松元俊子 10	菊政伸子 5	松枝亜津子 5	元西恵子 5	東正太 1	島貴史 1	錦織晴幸 1
百海緑 7	射水雄三 5	玉利恭子 1	赤峰秀敏 1	大塚聡一郎 2	田平秀俊 1	高 44
常木小由子 1	佐藤敬一 3	新田啓子 10	小林由美子 2	小澤佳彦 10	田畑博章 1	上野史恵 1
松本幸子 3	宮路研一 2	酒見順子 5	田中淳子 終 1	葛西康夫 1	河南真由美 終	石川香織 1
正願地高明 3	宮路研一 5	秀島光子 3	印南明彦 1	高島朗 1	小嶋京子 7	島村優理 5 5
宮崎幸夫 3	尾石京子 5	武藤由利子 5	池田妙子 1	滝沢清児 1	三好智里 1	本間紀子 4
北哲夫 1	斉藤晴子 5	安田容子 1	竹林悦子 1	美和千鶴子 10	加藤三紀彦 3	中津留勉 1 2
佐久間優行 3	伴野保志 5	金子知樹 10	高 28	佐藤経子 10	馬場靖代 1	高 45
清水実 3	野上衛 終	磯崎淳二 2	安藤雅生 3	平尾裕子 7	大橋貴志 5	山口恵里 1
杉浦史樹 5	高 22	佐藤敏之 1	市毛芳伸 1	船津毅 1	鈴木啓順 1	高橋真喜 終
稲垣正久 3	内野栄吉 10	田川祥一郎 1	小林信 10	西城淳美 終	伊藤尚美 1	小泉博和 3
金子芳雄 2	滝本行正 終	橋英夫 1	守屋直樹 1	大鳥寛治 3	依田敦 5	飯島綾子 1
村田正治 1	内野りつか 10	吉田寛 3	守屋直樹 3	坂野幸 7	小津智江 1	秦寛也 2
諸沢孝 1	稲葉吉尚 3	湯原真由美 終	小沼純子 10	河地尚之 1	田平直子 1	尾形聡子 10
小船かおる 5	佐々木路夫 3	植松一幸 2	堀江加代子 3	高 31	小嶋京子 7	木戸貴光 4
中里秀雄 5	西博孝 10	風間比呂一 5	横尾享子 5	尾崎一 1	三好智里 1	宮本緩美 1
高 20	原隆弘 1	中村修司 3	奥山晴英 3	木島相子 2	田崎久美子 1	高 46
黒田一枝 終	宮崎正是 10	山崎清史 3	小林俊雄 1	矢部崇 10	小林弘明 終	前田将多 2
浅沼啓子 1	吉野隆 10	畑敬子 3	高水英寿 1	谷口真弓 2 3	仲田学 2	中島恵美子 2
国吉幸子 10	畑紀子 5	須永雅子 3	石井園子 3	作間英明 3	下村玲子 3	鈴木和貴 1
佐藤美奈子 2	関谷待子 1	三田章博 10	小林淳子 10	荻島律子 終	小林美穂 終	前田由里香 1
荒井真理子 1	佐藤滋 3	岩根祥隆 2	古畑基樹 3	柴田和夫 1	矢口智美 1	高 47
小川泰志 3	鳥山由貴子 1	中田靖 10	三木孝治郎 終	塩田容子 1	湯浅幸子 3	栗原知子 10
中川恵 4	小林美恵子 10	佐々木弓子 6	浜本みどり 10	高塩雄一 2	湯浅幸子 18.7	平野俊也 1
菊池素子 10	平田実 終	梅沢教行 10	田代康子 5	喜代田智子 10	高 36	渡辺弘毅 10
神戸和子 1	山上明 終 3	藤野欣哉 5	石垣由美子 3	武田真弓 5	綿貫美穂 5	
長谷川順子 5	山田豊 終	関屋利恵 1	植木裕子 1	小塚洋子 10	江原朋子 3	
佐藤康夫 2	後藤順子 3	浜尚子 10	清水義裕 1	和藤真由子 1	中田真理子 1	
長沢きみ江 5	玉利桂 終	足立祥夫 1	鈴木亮 3	高橋大輔 1	胡麻本恭子 5	
佐藤れい子 2	斎藤正義 3	長屋淳子 終 2	柳典子 3	越原由香 3 2	佐藤直子 1	
田中保 終	花澤亮司 終	相京典子 1	山下有喜 6	越原由香 3 2	織間はるみ 3	
日浅泉 1	平井秀明 3	片山周子 1	越原理恵 3 2	野村麻里 15	丹下慎一 10	
人見敬子 1	丸井妙子 終	浅野えり子 1	越原理恵 3 2	高 32	綿貫昌弥 5	
井上秀子 1	武藤陽子 2	會田幸子 10	草川千都香 5	山田忠広 2	高 37	
瀧島恭子 3	高 23	酒井美智代 10	高 29	石川研一 1	和田真保 1	
田中百合恵 終	淵田芳孝 3	井上礼子 10	加藤健次 1	井野悟 1	野口修 1	
藤本万里 1	関川裕 7	高 26	宮島悌男 1	斎藤拓 5 2	平林直子 3	
川口章子 1	東龍夫 3	大坪均 1	宮島悌男 1	大川洋 1	柿内健介 1	
有馬保生 終	平井真人 2	笹川康夫 7	吉岡幹夫 1	高崎聖一 1	市村恵実子 5	
大谷伸一郎 1	功力郁朗 7	山本晃 2 2	中野真 3	仲沢浩一 6	高 38	
小笠原信一 2	佐藤純 3	川上圭介 終	松下淳子 1	三谷博和 2	門倉由紀子 2	
後藤健二 3	古谷辰美 終	加藤尚子 6 2	天沼邦彦 2	武田雅雄 2	三好智之 10	
小林憲一 1	岩下孝宏 2	柴武志 5	川島文彦 10	久池井幸子 1		
須沼洋 2	小林秀典 1			昇多加代 3		
関屋収 4						
田沢孝 終 27						

印刷所/一光印刷所 ☎03-3953-3336